



I.M.第7組 実行委員長 高原 政巳
(大阪御堂筋RC)

テーマ:「奉仕の心と健康」

- 開催日時:平成20年2月23日(土)13:00～16:20
- 開催場所:大阪国際会議場
- 出席者:新谷秀一G、松村榮一G補佐、平田大一G補佐、森茂寛地区代表幹事、北野紀之地区財務委員長、河盛隆造順天堂大学医学部教授、須磨久善(財)心臓血管研究所スーパーバイザー、I.M.第7組会員189名(登録者数238名)、大阪西南RAC1名、大阪御堂筋RAC11名
- 参加RC:大阪南RC・大阪西南RC・大阪心斎橋RC・大阪南西RC・大阪難波RC・大阪うつぼRC・大阪なにわRC・大阪船場RC・大阪本町RC・大阪フレンドRC・大阪御堂筋RC

私たち大阪御堂筋RCは、2001年度より、個人の遺伝情報に応じた医療の実現を目指す「オーダーメイド医療実現化プロジェクト」の一助として「遺伝子バンク創設事業」を展開してきました。その結果、1150名を超える採血の協力を得ることができ、ご協力頂いた血液が様々な研究に使用され具体的な成果も出てきております。この事業に対しては、2005-2006年度の意義ある業績賞を頂いております。このような事業を推進している私たちRCがI.M.のホストを受けるにあたり、人間の健康と生命について考えるI.M.を開催したいと思い、「奉仕の心と健康」をテーマにしました。

基調講演として、河盛隆造教授による「メタボリックシンドロームって何?」、須磨久善教授による「高齢化社会と心臓病」という、世界的に著名な2教授より、ロータリアン世

代には身近で大変興味深い講演を頂きました。

テーブルディスカッションでは、「奉仕の心と健康」に関して、各RCが行っている奉仕活動の情報交換を行なうとともに、改めて人間の命の尊さを認識し、すべての人々が健康で幸せな社会を維持する為に「ロータリーができる事」について討論を行いました。新谷Gからも今回のI.M.に対して、最大限の賛辞を頂くとともに、各RCを超越した「メディカル・ロータリー・ネットワーク」の構築というご提案を頂くなど、有意義なミーティングにすることができました。また、運営面では、多くのRACメンバーの協力を頂き、RCとRACとの協同運営という新たなI.M.の形を示すことができたのではないかと思います。

この場を借りて、ご参加ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

